

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
嵐山中央地区

平成26年3月

埼玉県嵐山町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	駅までの歩行時間	分	18	15	15	確定 ●	○	あり		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	平沢土地区画整理事業の進捗により、歩道があり安全に歩行できる道路が完成した。駅周辺においても歩道設置や信号待避所設置することにより、安全に歩行できる駅までの通勤・通学時間を短縮することができ、安全に歩行できる空間が拡大した。
指標2	交通安全対策における満足度	%	10.6	25.0	28.6	確定 ●	○	あり	36.6	H25年11月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	課題であった駅周辺の通勤・通学路及び観光客のために歩道整備や生活道路整備を行い、交通安全対策における満足度が大きく向上した。信号待避所や地区の公園整備も行っており、目標を大きく上回ることができた。
指標3	(仮称)ふれあい交流センターの利用者数	人/年	44,518	49,000	54,132	確定 ●	○	あり	72,009	H25年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	ふれあい交流センターを整備することにより、異世代交流の場が確保され、利用者数が目標より大幅に増加した。周辺の歩道整備や信号待避所整備等交通安全対策も進み、より利用しやすくなっている。
指標4						確定 ●	○	あり		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 ●	○	あり		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 ●				H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2					確定 ●				H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定 ●				H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 成果を持続させるための行う方策 	町民主体のまちづくり活動	<ul style="list-style-type: none"> 自主防犯団体によるパトロール及び地区の通学時の児童の見守り活動 地域コミュニティ活動への助成 	<ul style="list-style-type: none"> 自主的なパトロールにより、嵐山町のH19年の刑法犯発生認知件数が305件からH24年は219件と減少している。 各自治組織が主体的に地域のコミュニティを活性化させる事業(町全体で21団体が実施)を行い、住民の交流が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 町の高齢化が進んでおり(平成25年12月現在高齢化率27.3%)、これからのコミュニティ活動の維持をどのように図っていくかが課題となってきている。
	ボランティアの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアコーディネーターの設置 ボランティアセンターの設置 ボランティアフェスタの開催(年1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動を積極的に推進した結果、ボランティア団体がH21年には43団体であったが、H24年には52団体となった。事業協力や施設訪問などもH24年度は404回行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きふれあい交流センターを拠点として、ボランティアセンターを活かし、ボランティアが盛んなまちづくりを行っていく。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> まちづくりの目標を達成するための改善策 残された課題・新たな課題への対応策 その他 必要な改善策 	高齢者等買い物難民対策	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の高齢者等の買い物難民対策を進めるため、コミュニティビジネス検討委員会を立ち上げて検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 先進地等に視察や会議を重ねて検討したが、多額の維持管理経費等の問題が出てきた。 販売員の募集を行ったが、応募がなく、コミュニティビジネス検討委員会は、今後民間活用を積極的に行うこととし、解散することとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、全国的に民間による宅配サービスが充実してきていることや、小規模店舗を市街地に開設する動きも出てきている。民間を積極的に活用し、引き続き高齢者に対する日常生活用品等の確保を検討していく。
	観光客の案内対策	<ul style="list-style-type: none"> H24年度に町内の観光看板の設置(40基)を行った。 観光協会において観光ボランティアガイドの育成を行った。現在、6名のガイドにより、観光情報の発信を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な観光事業の結果、町の中心的な観光施設である嵐山渓谷バーベキュー場は、民間HPの「全国日帰りバーベキュー&キャンプ場」関東エリア人気スポットにおいて3年連続第1位を獲得した。 バーベキュー場の来場者数もH23年64,614人がH24年には80,089人となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県が実施している「川のまるごと再生事業」に応募し、嵐山町名発祥の地である嵐山渓谷の魅力をもっと向上することにより、観光客の増加を図っていく。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項